

正誤表

このたびは『S T評価ポケット手帳』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本書の第1刷（2020年4月19日発行）に以下の誤りがありましたので、ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

2020年9月10日作成

訂正箇所	誤	正	更新年月日
18～19ページ	口腔顔面領域の筋と支配神経の表に間違いがございます	間違いは下記に修正の表を記載し、誤字の箇所は赤字で記載しております	2020年8月24日
225ページ	即納室体部レベル	側脳室体レベル	
180ページ	レベル3：経口摂取と一定量の経口摂取	レベル3：経管栄養と一定量の経口摂取	2020年9月10日

口腔顔面領域の筋と支配神経

部位	筋	作用	支配神経	支配（核上性）	
表情筋	口輪筋	口唇を閉鎖、口をすぼめる	顔面神経(VII)	顔面下部は片側 錐体外路系は両側	
	笑筋	口角を外側に引く			
	頬筋	頬を平らにする			
	オトガイ筋	下唇を突出させる			
咀嚼筋	側頭筋	下顎骨を挙上、後退させる	三叉神経(V)	両側	
	咬筋	下顎骨を挙上させる			
	内側翼突筋	下顎骨を挙上、突出させる			
	外側翼突筋	下顎骨を下制、前方と下方へ引く			
軟口蓋筋	口蓋帆張筋	嚥下時に耳管を広げる	三叉神経(V)の下顎神経枝	両側	
	口蓋帆挙筋	軟口蓋を挙上させる	咽頭神経叢	両側	
	口蓋垂筋	口蓋垂を挙上させる			
	口蓋舌筋	舌の後方を挙上、口蓋の両側下制させる			
	口蓋咽頭筋	軟口蓋を下制、喉頭と咽頭の挙上補助			
舌筋	内舌筋	垂直舌筋	舌下神経(XII)	片側	
		横舌筋			舌を長く、幅を狭める
		上縦舌筋			舌を短縮・挙上、舌背を凹状にする
		下縦舌筋			舌尖を下げる、舌背を凸状にする
	外舌筋	茎突舌筋			舌後部を挙上、突出した舌を後退させる
		オトガイ舌筋			舌を突出・後退させる
		舌骨舌筋			舌を後退させる
		口蓋舌筋			舌の後部を挙上させる
咽頭筋	咽頭収縮筋	上咽頭収縮筋	咽頭を狭窄させる	咽頭神経叢	
		中咽頭収縮筋	咽頭を狭窄させる	迷走神経	
		下咽頭収縮筋	咽頭を狭窄させる	咽頭神経叢	
		口蓋帆咽頭括約筋	口蓋咽頭部を狭窄、軟口蓋を後退させる	舌咽神経	
		輪状咽頭筋	食道入口部閉鎖を維持させる	咽頭神経叢	
	咽頭挙筋	茎突咽頭筋	咽頭と喉頭を広範に挙上させる	咽頭神経叢	
		耳管咽頭筋	咽頭を挙上、耳管を開く		
外喉頭筋	舌骨上筋群	茎突舌骨筋	舌骨を挙上、後退	顔面神経(VII)	顔面下部は片側 錐体外路系は両側
		顎二腹筋	前腹：舌骨を前上方へ挙上する 後腹：舌骨を後上方へ挙上する 舌骨固定時は下顎骨を下制する	前腹：三叉神経(V) 後腹：顔面神経(VII)	両側 片側
		顎舌骨筋	舌骨と舌を挙上、突出させる	三叉神経(V)	両側
		オトガイ舌骨筋	舌骨を前方に引く	第1頸神経(C1)	片側
	舌骨下筋群	甲状舌骨筋	舌骨を引き下げる、甲状軟骨を挙上させる	第1頸神経(C1)	片側
		胸骨舌骨筋	舌骨を引き下げる	頸神経ワナ	
		胸骨甲状筋	甲状軟骨を引き下げる		
	肩甲舌骨筋	舌骨を引き下げる			
内喉頭筋	輪状甲状筋	声帯を伸張、緊張させる	迷走神経(X)の上喉頭神経	両側	
	外側輪状披裂筋	声帯を内転させる	迷走神経(X)の反回神経		
	後輪状披裂筋	声帯突起と声帯を外転させる			
	甲状披裂筋	声帯を短く、厚くする			
	声帯筋	声帯を緊張を調整させる			
	披裂筋	声帯を内転、喉頭口の狭窄			

※咽頭神経叢：舌咽神経(IX)と迷走神経(X)と交感神経（上頸神経節）からなる運動および知覚神経線維

※頸神経ワナ：舌下神経(XII)と頸神経叢(C1~C3)より構成される枝